Panasonic®

保管用
施工説明付き
保証書別添付

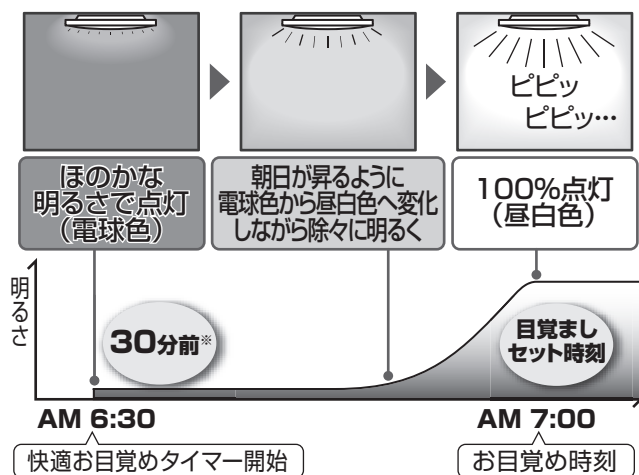
取扱説明書

住宅用照明器具
（LEDシーリングライト）

品番　HH-LC540A
　　　HH-LC640A

もくじ

「快適お目覚めタイマー」機能付き

●朝日が昇るように電球色から昼白色へ光の色が変化しながら徐々に明るくなり、爽やかな目覚めをサポートします。

※快適お目覚めタイマー開始時刻は、目覚ましセット時刻の30分前と15分前から選べます。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　（必ずお守りください）

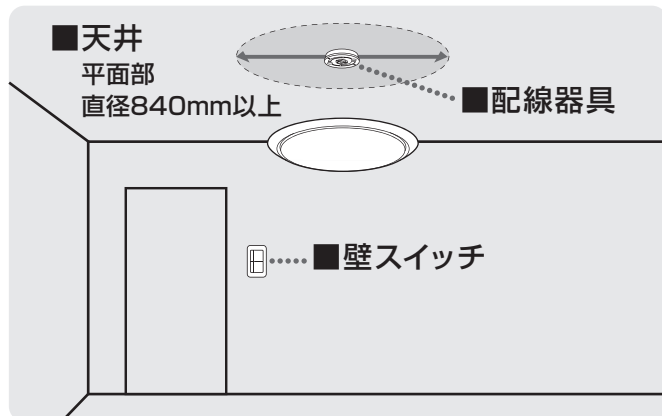
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■天井

必ず守る

●必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

禁止

●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

船底天井

格子天井

竿縁天井

●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

禁止

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの

ローゼット10mm未満

引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中) に基づき、自主点検
してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因と
なることがあります。

●カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから
行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

禁止

●カバーを外した状態で点灯したLEDを
長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

●カバーを回して外す時は枠を持って回さない

本体が落下してけがの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

配線器具
(付属していません。)

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)
補修品番NZ2716M

本体

※器具本体裏面に4カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)

黒スポンジ

リモコン受信器

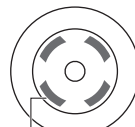
操作方法は、6、13ページ参照

常夜灯

コネクタ

枠

LED

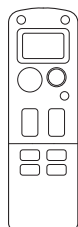
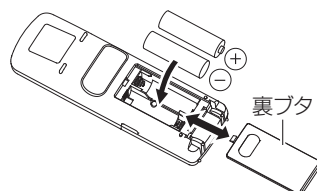
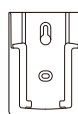
カバー
(外面キレイコート仕様)
キレイコートについては、
14ページ「お手入れについて」参照

リモコン付属部品

リモコン
(1個)
補修品番
HK9485MM

操作方法は、6~13ページ参照

単3形乾電池
(2本)

●リモコンの裏ブタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。

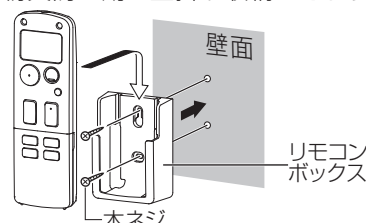
裏ブタ

リモコンボックス
(1個)

リモコンボックス用木ネジ(2本)

●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。

壁面

リモコンボックス

木ネジ

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 ☞ 14ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具

丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング
WG5005 WG5015	WG4000 WG4420 WG4425 WG1500
フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング
WG6005	WG1000

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

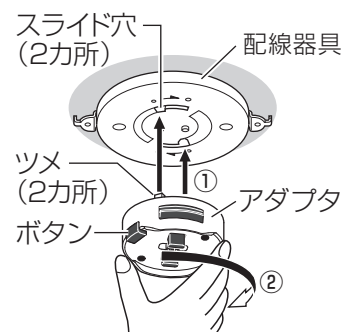
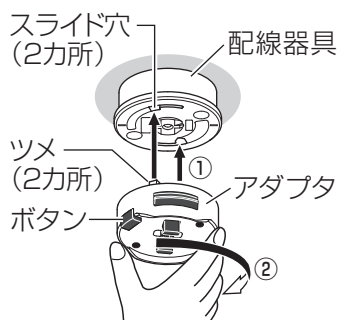
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで アダプタを右に回して取り付ける

確認 **ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する**

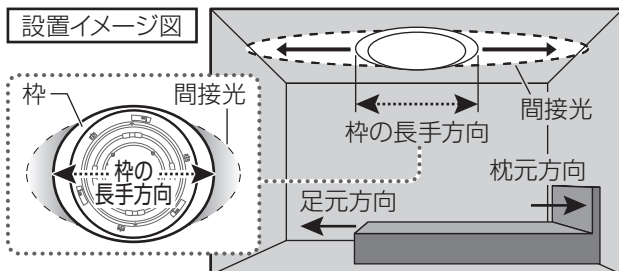
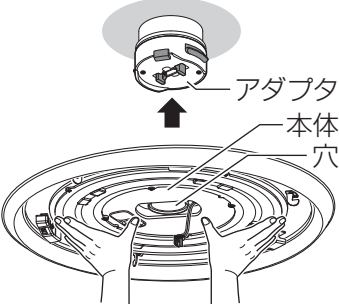
アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

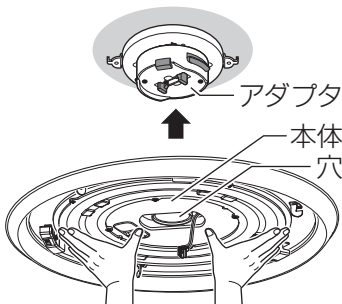
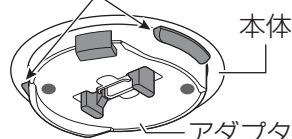
※配線器具により本体の取付位置が異なります。右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

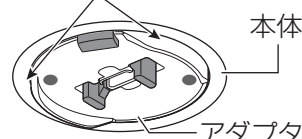
※くつろぎのあかりは、間接光が枠の長手方向から出ますので(下図参照)、取り付ける際に間接光の出る方向を枕元や足元方向に合わせるのがおすすめです。おやすみ前のリラックスタイムに適したあかり環境をつくることができます。

設置イメージ図

本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる

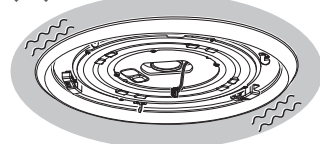
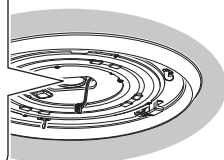
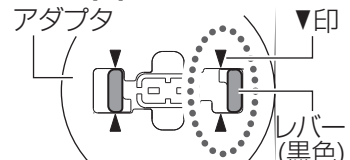
アダプタの本体取り付け位置

アダプタのツメ(黒色)が両方見える

カチッと1度、音がするまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

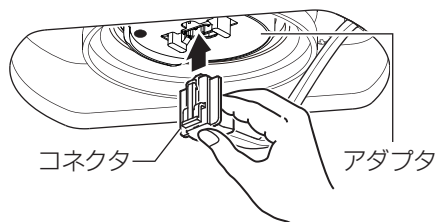
アダプタのツメ(黒色)が両方見えない

4 本体が正しく取り付けられているか確認する

✕本体がグラグラする

✕本体が簡単に回転する

✕アダプタの▼印とレバーの位置がずれている

上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 コネクタをアダプタに差し込む

① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

② コネクタをアダプタに確実に差し込む

確認

●コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 3 に戻る。

●引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。

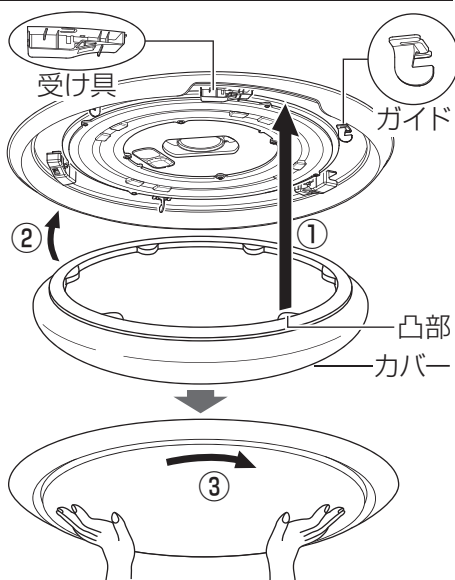
●本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照）本体を押し上げる（☞前ページ手順 3 参照）

6 カバーを取り付ける

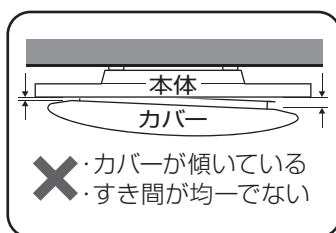
① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる

② カバーを持ち上げる

③ カバーを回転が止まるまで右に回す
（回転角度は、最大で約50度）

④ カバーが右に回転しないことを確認する

確認

●カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照
(2) 本体を押し上げる ☞前ページ 手順 3 参照
(3) コネクタを差し込む ☞上記 手順 5 参照
(4) 再度、手順 6 を行う

●カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、**カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。**
カバーを左に回して外し、再度、手順 6 を行う

⚠警告

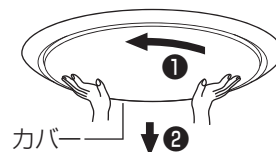
本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがります。

⚠注意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

枠を持って回さない
本体が落下してけがの原因となることがあります。

カバーの外しかた

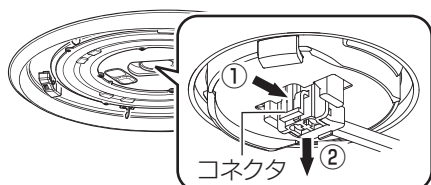
❶カバーを左に約20度回す
❷カバーを外す

確認

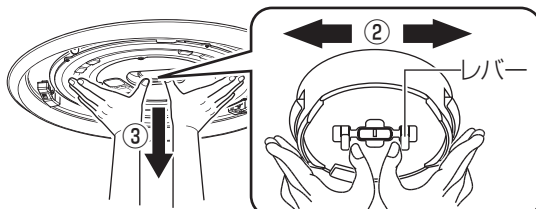
カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
枠を押さえながらカバーのみを左に回して外し、本体を正しく取り付ける
☞左記 確認 手順(1)〜(3)参照

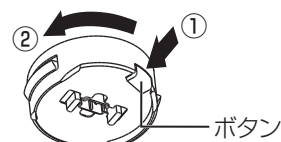
照明器具を取り外す

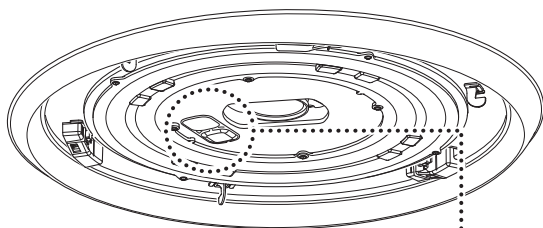
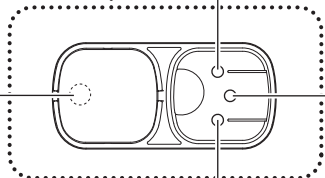
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 コネクタを外す

①つまみながら
②引いて、外す

2 本体を外す

①本体が落ちないようにしっかりと支え
②レバーを矢印の方向（左右）に広げたまま
③本体をゆっくりと下げて、外す

3 アダプタを外す

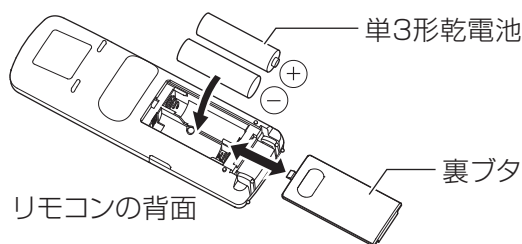
①ボタンを押しながら
②左に回す

各部のはたらき

リモコン受信器（本体）

リモコンの準備

●**リモコンの裏ブタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。**

単3形乾電池

裏ブタ

リモコンの背面

●**リモコンの現在時刻を設定する**

お買い上げ時や電池交換時の設定のしかた

00:00 時刻が点滅している場合 → 右記手順3から設定を行う

現在時刻を変更する場合

0:00 時刻が点滅していない場合 → 右記手順1から設定を行う

1. **リモコンのフタを開ける**
2. 時刻設定 **リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す**
   現在 おめざめ 「現在」が点滅する（「おめざめ」は点灯）
3. 時刻設定 **リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**
   現在 0:00 現在時刻が点滅する
4. **リモコンの「∧∨ボタン」を押して現在時刻を合わせる**
5. 時刻設定 **リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**
   12:34 現在時刻が点滅から点灯に変わり設定完了
6. **リモコンのフタを閉じる**

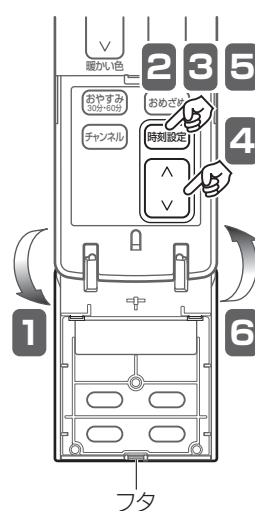
リモコン（フタを開けた状態）

暖かい色　おやすみ 30分・60分　おめざめ　チャンネル　時刻設定

フタ

メモ

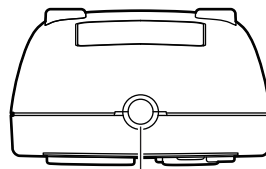
●「快適お目覚めタイマー」、「おやすみタイマー」をセットするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。

●「快適お目覚めタイマー」、「おやすみタイマー」セット中は、現在時刻の変更はできません。

リモコン（フタを閉じた状態）

リモコン送信部

※傷つけたり、汚したりしないでください。

送信部1

送信部2

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

調色ボタン

光色を昼光色から電球色の間で連続調節

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

全灯ボタン

光色：昼白色、明るさ：100%で点灯

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

くつろぎボタン

くつろぎのあかりで点灯

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

フタ

フタを開けて、快適お目覚めタイマー、おやすみタイマーの設定、時刻設定やチャンネル切替を行います。

点灯 普段

消灯

常夜灯

白い色　明るい

暖かい色　暗い

全灯　白い色

くつろぎ　暖かい色

消灯ボタン

常夜灯ボタン（蓄光）

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
（初期設定：100%の明るさ）

◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

明暗ボタン

LED、常夜灯の明るさを調整

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」
9ページ「常夜灯を点灯する」参照

白い色ボタン

光色：昼光色、明るさ：約50%で点灯

☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

暖かい色ボタン

光色：電球色、明るさ：約50%で点灯

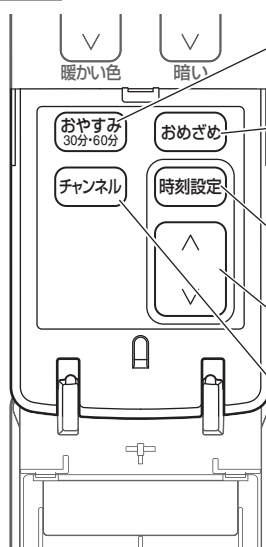
☞8ページ
「シーンに合わせてあかりパターンを切り替える」参照

リモコン（フタを開けた状態）

フタの開けかた

フタを手前に
おこして開ける

フタを閉じるとき

パチッと音がするまで閉じる
確実に閉じないと正しく動作しません。

おやすみタイマーボタン

☞12ページ「おやすみタイマーをセット/解除する」参照

おめざめボタン

快適お目覚めタイマーの設定/解除

☞10～11ページ
「快適お目覚めタイマーの設定」参照

時刻設定ボタン

現在・おめざめの時刻を設定

∧∨ボタン

現在・おめざめの選択、時刻を変更

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル（1～3）を設定
（初期設定：チャンネル1）

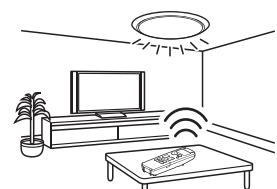
☞13ページ
「複数のリモコン照明器具を操作する」参照」参照

送信のしかた　必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて
操作する。

●「快適お目覚めタイマー」
「おやすみタイマー」を
使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯
することを確認する。

シーンに合わせてあかりパターンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンで5つのあかりパターンが選べます。　・普段のあかり・くつろぎのあかり・全灯・白い色・暖かい色

白い色　白い色（昼光色）

「白い色ボタン」を押すと、昼光色6500K[※1]、明るさ約50%で点灯

全灯　全灯（昼白色）

「全灯ボタン」を押すと、昼白色、明るさ100%で点灯

暖かい色　暖かい色（電球色）

「暖かい色ボタン」を押すと、電球色3000K[※1]、明るさ約50%で点灯

「調色ボタン」で光色を調節

※1: K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

点灯 普段　普段のあかり

「点灯・普段ボタン」を押すと、左図の範囲内であらかじめ設定した明るさ、光色で点灯（初期設定:昼白色、明るさ約70%）

■普段のあかりを調光、調色して記憶させる

1 リモコンの「点灯・普段ボタン」を押して普段のあかりを点灯させる

2 リモコンの「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光色を調節する→記憶

メモ
- ●LEDの明るさ、光色を調節すると、その都度記憶します。
- ●「全灯ボタン」「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して、明るさや光色を調節した場合も「点灯・普段ボタン」に記憶されます。
- ●快適お目覚めタイマー開始後に「明暗ボタン」「調色ボタン」で調節した場合も「点灯・普段ボタン」に記憶されます。

くつろぎ　くつろぎのあかり

「くつろぎボタン」を押すと、オレンジ色の間接光が点灯
「くつろぎボタン」を押すごとに、直接光の点灯、消灯の切り替え

	光色	明るさ
間接光	オレンジ色固定	100%～約5%[※2]
直接光	電球色（3000K）固定	約10%点灯／消灯

メモ
- ●初期設定:間接光【明るさ】100%、直接光は消灯
- ●間接光の調光状態、直接光の点灯、消灯状態を記憶します。

※2: 周囲の環境によっては調光時の明るさ（%）が異なる場合があります。

■間接光を調光して記憶させる

1

リモコンの「くつろぎボタン」を押してくつろぎのあかりを点灯させる

2

リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する→記憶

■直接光の点灯、消灯を切り替えて記憶させる

リモコンの「くつろぎボタン」を押すごとに直接光の点灯、消灯を切り替える→記憶

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

1

リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる

2

リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する
→記憶

メモ

●6段階の明るさを調節できます。
●再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●常夜灯は調色できません。

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

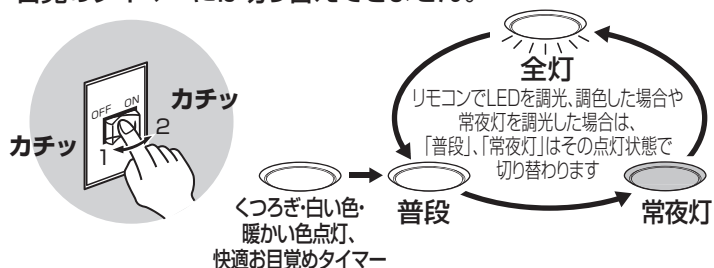
記憶している前回の「あかりパターン」で点灯します

今回の「あかりパターン」を記憶して消灯します

●「快適お目覚めタイマー」状態でOFFすると、次にONしたときは「全灯」で点灯します。
●消灯状態でOFFすると次にONしたときも消灯状態になります。

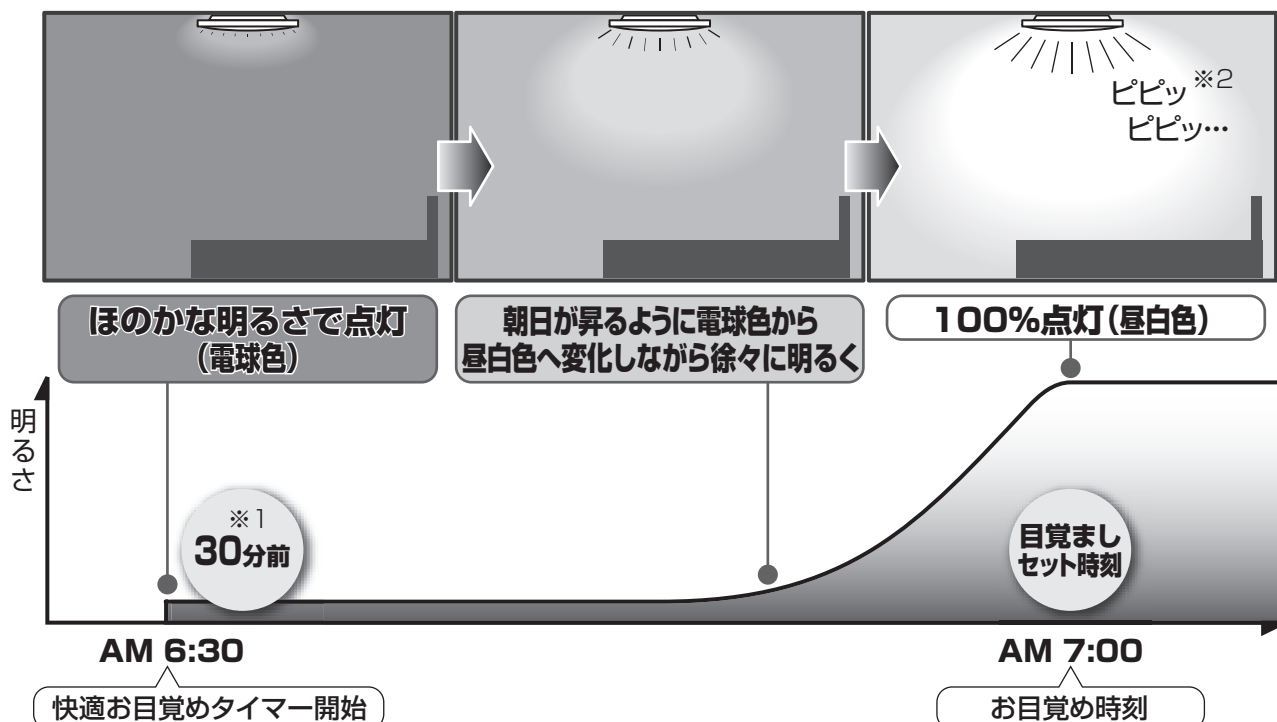
注意 壁スイッチを素早く操作すると点灯状態が切り替わります。
右記「点灯状態を切り替える」参照

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。但し、くつろぎ･白い色･暖かい色点灯、快適お目覚めタイマーには切り替えできません。

●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

快適お目覚めタイマーとは

朝日が昇るように電球色から昼白色へ光の色が変化しながら徐々に明るくなり、
爽やかな目覚めをサポートします。

■ **明るさ変化のイメージ**（AM7:00に目覚ましセット時刻を設定したとき）

※1:快適お目覚めタイマーの開始時刻は、目覚ましセット時刻の30分前と15分前から選べます。
※2:アラーム音は、約2分で自動停止します。リモコン（フタを閉じた状態）のいずれかのボタンを押すとアラーム音を停止できます。（点灯状態は、変わりません。）

快適お目覚めタイマーの設定

快適お目覚めタイマーを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。 ☞ 6ページ「リモコンの準備」参照

快適お目覚めタイマーをセット／解除する

1 **リモコンのフタを開ける**

2 おめざめ **リモコンの「おめざめボタン」を押す**

おめざめ 7:00 「おめざめ」、「目覚ましセット時刻」が表示される
【初期設定】「7:00」

約2秒後

おめざめ 30 分前 「おめざめ」、「快適お目覚めタイマー開始時刻」が表示される
【初期設定】「30分前」

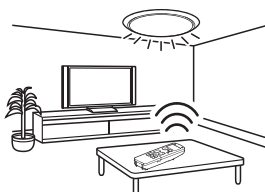
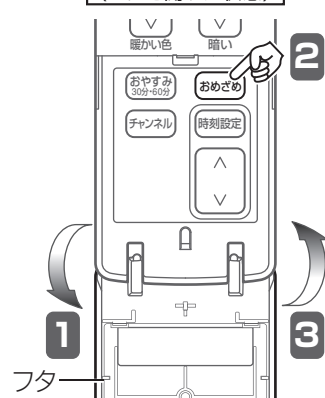
約2秒後

おめざめ 12:34 「おめざめ」、「現在時刻」に表示が切り替わり、快適お目覚めタイマーがセットされる

● もう一度押すと解除します（「おめざめ」表示が消えます）

3 **リモコンのフタを閉じる**

4 **操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く**

注意 壁スイッチで消灯すると「快適お目覚めタイマー」は、動作しません。照明器具を消灯する場合は、リモコンで操作してください。

メモ

●快適お目覚めタイマー開始後に、「点灯・普段」「全灯」「くつろぎ」「白い色」「暖かい色」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押すと点灯状態が切り替わり、快適お目覚めタイマーは、実行されません。
●快適お目覚めタイマーは、解除するまで毎日繰り返します。
●快適お目覚めタイマーのセット中に目覚ましセット時刻や快適お目覚めタイマー開始時刻の確認をする場合は、「おめざめボタン」を2度押して確認してください。

快適お目覚めタイマーの設定時刻を変更する

1 **リモコンのフタを開ける**

2 **リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す**

「現在」が点滅する
（「おめざめ」は点灯）

3 **リモコンの「∧∨ボタン」でおめざめに合わせる**

「おめざめ」が点滅する
（「現在」は点灯）

4 **リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**

目覚ましセット時刻が点滅する
（初期設定「7:00」）

5 **リモコンの「∧∨ボタン」を押して目覚ましセット時刻を変更する**

● 時刻は1分刻みで設定できます。

6 **リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**

快適お目覚めタイマー開始時刻が点滅する（初期設定「30分前」）

7 **リモコンの「∧∨ボタン」で快適お目覚めタイマー開始時刻を選ぶ**

快適お目覚めタイマーが目覚ましセット時刻の
30分前から開始します

快適お目覚めタイマーが目覚ましセット時刻の
15分前から開始します

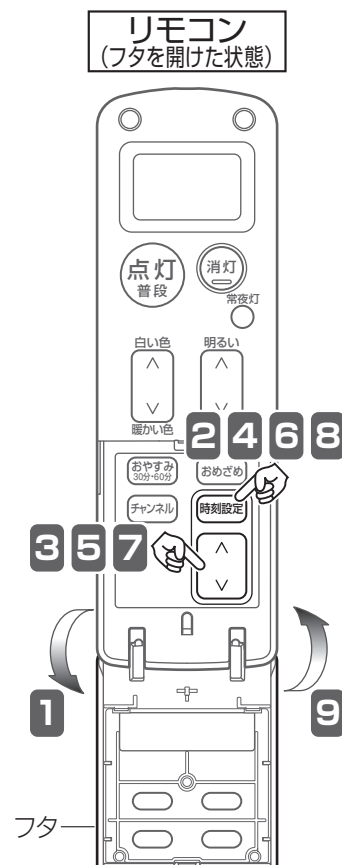
8 **リモコンの「時刻設定ボタン」を押し設定を決定する**

現在時刻に切り替わり設定完了

● 「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
● 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

9 **リモコンのフタを閉じる**

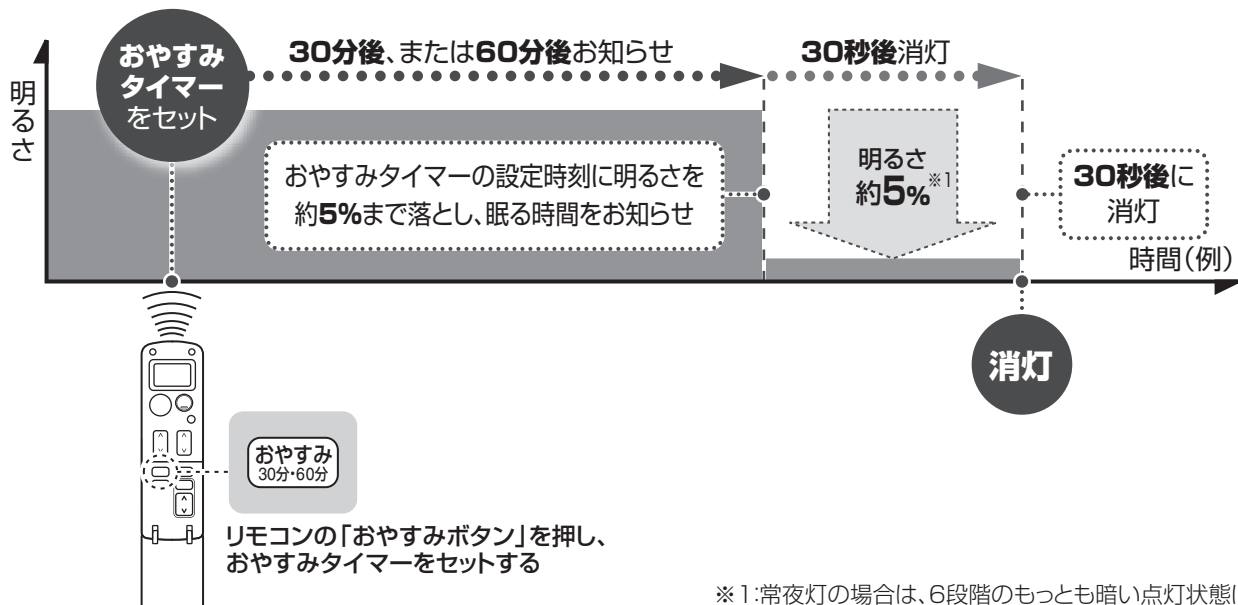
注意

「快適お目覚めタイマー」セット中は、設定時刻の変更ができません。
（現在時刻の変更もできません）
快適お目覚めタイマーを解除して設定時刻の変更を行ってください。

リモコンの便利な使いかた

おやすみタイマーをセット／解除する

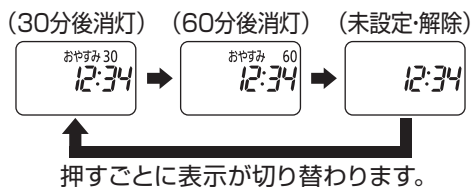
おやすみタイマーをセットするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。 6ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーの設定時刻に明るさを約5%まで落とし、眠る時間をお知らせします。30秒後に自動消灯を行います。

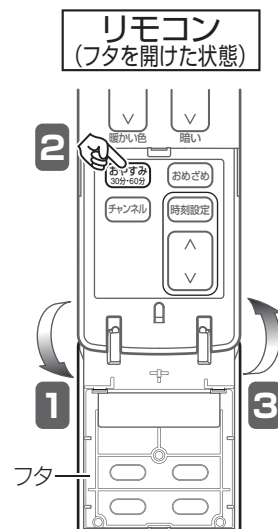
■ おやすみタイマーの動作イメージ

※1:常夜灯の場合は、6段階のもっとも暗い点灯状態になります。

おやすみタイマーのセット/解除方法

1 **リモコンのフタを開ける**

2 **リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押して希望のタイマーをセットする**

3 **リモコンのフタを閉じる**

4 **リモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く**

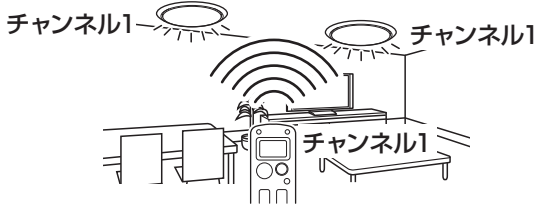
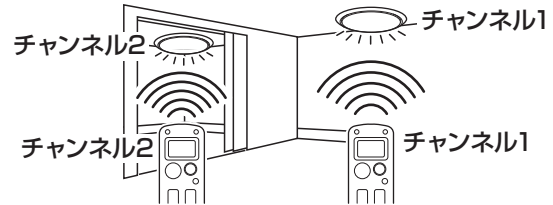
7ページ「送信のしかた」参照

メモ

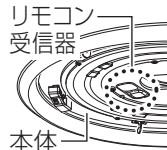
- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その後「おやすみタイマー」は解除されます。
- 「おやすみタイマー」セット中に、「消灯ボタン」を押すと、「おやすみタイマー」が解除されます。

複数のリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合

●近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合

1

リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す(1秒以内にはなす)
→「ピッ」と音がする

2 **リモコンのフタを開ける**

3 チャンネル

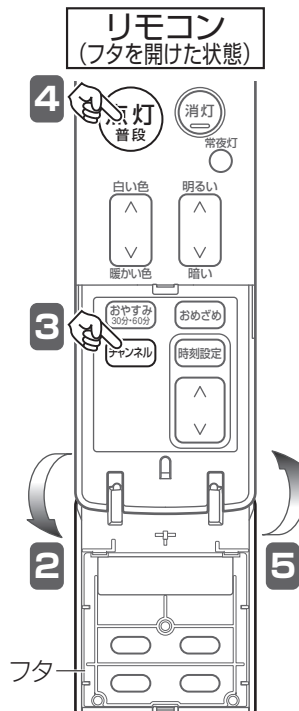
リモコンの「チャンネルボタン」を押して希望のチャンネル(CH1～3)に合わせる

CH 1

現在設定されているチャンネルが表示されます。
その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)

4

リモコンの点灯･普段、消灯、常夜灯、調色、明暗、全灯、くつろぎ、白い色、暖かい色のいずれかのボタンを押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

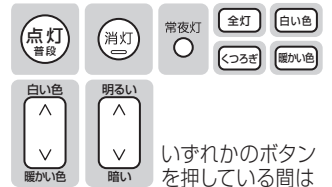
5 **リモコンのフタを閉じる**

リモコン
(フタを開けた状態)

メモ

リモコンの「点灯･普段」「消灯」「常夜灯」「調色」「明暗」「全灯」「くつろぎ」「白い色」「暖かい色」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。

CH 1

設定されているチャンネルが表示されます。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
（本体のリモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を押せば消灯/普段のあかりは可能）☞6ページ「各部のはたらき」参照
●壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
●リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。
その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。☞13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照
●リモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作が できない場合があります。
●リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
●リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどをかけないでください。
故障の原因となることがあります。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。（使用環境により程度は異なります。）
☞お手入れについては、14ページ「お手入れについて」参照
●間接光点灯時、天井の凹凸や天井面のクロスの継ぎ目などが目立つ場合があります。

【周 囲 の 影 響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

お手入れについて　安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

キレイコート部(カバー外面)のお手入れ

●汚れは、やわらかい布を**水**に浸してよく絞ってから軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

【キレイコートとは】
水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。
染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

キレイコート
（カバー外面）

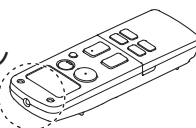
他の部位のお手入れ

●汚れは、やわらかい布を**石けん水**に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。
●キレイコート部(カバー外面)は、強くこすらないでください。また、水拭きの際は洗剤などを使用しないでください。
コーティングはがれの原因となります。

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

リモコン
送信部

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、…………… ②本体を押し上げてから………… ③コネクタを再度、差し込む……	☞ 5ページ 1 ☞ 4ページ 3 ☞ 5ページ 5
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	☞ 9ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯、消灯する	「快適お目覚めタイマー」セット中である	「快適お目覚めタイマー」を解除する	☞ 10ページ「快適お目覚めタイマーをセット/解除する」
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	☞ 8～9ページ 「あかりをつける」
	「おやすみタイマー」セット中である	「おやすみタイマー」を解除する	☞ 12ページ「おやすみタイマーをセット/解除する」
リモコンで操作できない ・液晶が表示しない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 3ページ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞
・液晶は表示している	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	☞ 13ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時または「快適お目覚めタイマー」セット中にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が 勝手に切り替わる	「快適お目覚めタイマー」セット中である	「快適お目覚めタイマー」を解除する	☞ 10ページ「快適お目覚めタイマーをセット/解除する」
	電子ブロックが異常動作状態になっている	リモコン受信器の ・「チャンネル設定」スイッチ ・「音切入」スイッチ ・「OFF/ON」スイッチ の**3ボタンを同時に押す。** （はなすと「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。） ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」本体の処置②を行ってください。 また、記憶させていた普段のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしなおしてください。	リモコン受信器
「ピピッ ピピッ ピピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください	
点灯・消灯時刻が設定できない 現在時刻が点滅している 「快適お目覚めタイマー」「おやすみタイマー」が操作できない	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	☞ 6ページ 「リモコンの現在時刻を設定する」
現在時刻の 変更ができない	「快適お目覚めタイマー」、 「おやすみタイマー」セット中である	「快適お目覚めタイマー」および 「おやすみタイマー」を解除してから行う	☞ 10ページ「快適お目覚めタイマーをセット/解除する」 12ページ「おやすみタイマーをセット/解除する」
「快適お目覚めタイマー」「おやすみタイマー」で点灯または消灯しない	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	☞ 13ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	☞ 7ページ「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	☞ 14ページ「お手入れについて」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞ 6ページ「リモコンの準備」

上記の処置を行っても現象が続く場合		
	本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する ☞ 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
	リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する ☞ 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
HH-LC540A	AC100 V	50/60Hz共用	47W	くつろぎのあかり（直接光点灯時）13W リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.48A
HH-LC640A			52W		0.53A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。） 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

●品番は保証書またはカバーのラベルをご参照ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　　話　（　　　）　ー

お買い上げ日　　　年　　月　　日

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名　住宅用照明器具

●品　　　番　□ HH-LC540A　□ HH-LC640A

☑ 保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

●故障の状況　できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット

〒571−8686 大阪府門真市門真1048